

学校名	東京学芸大学附属小金井小学校	実施年月日	平成17年3月10日
指導者	傳 幸 朝 香	授業コード	

学年	4年生	教科	理科
单元名	自然の中の水		
単元の目標	<p>水が水蒸気や氷になる様子を観察し、温度と水の変化とを関係づけながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、水の状態変化についての見方や考え方をもちようとする。</p> <p>【自然事象への関心・意欲・態度】 水を熱したり冷やしたり、身の回りの水の変化の様子を調べたりすることに興味・関心をもち、すすんで温度による水の状態変化を調べようとする。</p> <p>【科学的な思考】 ①水蒸気や氷に状態を変える水の状態変化と温度を関係づけて考えることができる。 ②地面や水面から水が蒸発していくことや、結露して水が現れることから、空気中の水の存在を考えることができる。</p> <p>【観察・実験の技能・表現】 ①加熱器具などを安全に操作し、水の状態変化についての実験をすることができる。 ②水の状態変化を調べ、記録したり、経時変化を表やグラフなどに表したりすることができる。</p> <p>【自然事象についての知識・理解】 ①水は、温度によって水蒸気や氷に変わることを理解する。 ②水は水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれるとともに、結露して再び水になって現れることがあることを理解する。</p>		
単元の指導計画	<p>第1次 約50度の水は蒸発しているだろうか。(3時間)</p> <p>第2次 水を熱して温度変化や様子を観察しよう(3時間)</p> <p>第3次 熱した時にでてくるあわの正体を確かめよう。(2時間)</p> <p>第4次 水を冷やして温度変化や様子を観察しよう(2時間)</p> <p>第5次 今までの学習をまとめ、自然界の現象と結びつけよう(1時間)</p> <p>・・・本時</p>		
本時のねらい	<p>今まで学習した蒸発・水・氷・水蒸気・などの言葉や現象を思いだし、自然界の現象と結びつけることができる。</p>		

本時の学習活動の展開

導入	今まで学習したことを確認する。
展開	映像を視聴し、わかったことなど意見を言い合う。
まとめ	今までの学習を総括し、プリントを書く。

デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	本時まで、水を用いて様々な実験を行ってきた。温度が高くても低くても蒸発が起こるということや水を熱したときには沸騰がおこり、水蒸気や湯気などという言葉や現象をも学習した。また、水を冷やしたとき約0℃で水は凍るということも前時に学習している。今回、実験でみた現象を自然界のなかや日常起こっていることと結びつけて考えられるようにしたいと考えた。沢山の水にまつわる現象を視覚化し多くみられるようにするために、このようなデジタルコンテンツを用いることにした。
---------------------	--

学校名	東京学芸大学附属小金井小学校	実施年月日	平成17年3月10日
指導者	傳 幸 朝 香	授業コード	

学年	4年生	教科	理科
単元名	自然の中の水		
授業概要			
今回の授業で活用したデジタルコンテンツ（URL）	NHKオンライン小学理科4年生「びっくりか」 http://www.nhk.or.jp/rika4/ja/frame.html		
今回の授業におけるデジタルコンテンツの活用	番組クリップの視聴		
児童の反応			
授業を終えて			